



2023年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社 I N F O R I C H
代 表 者 名 代表取締役社長 秋 山 広 宣
兼執行役員CEO

(コード番号：9338 東証グロース)

問い合わせ先 取締役 橋 本 祐 樹
兼執行役員CFO

TEL. 03-4500-9221

営業外収益及び営業外費用、特別利益及び特別損失の計上並びに 個別業績と前期実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2022年12月期決算において、営業外収益（為替差益）、営業外費用（貸倒引当金繰入額）、特別利益（固定資産補償益）、特別損失（使用权資産減損損失）を計上するとともに、2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、当該期間に係る個別の業績予想を公表しておりませんので、対比につきましては前期実績値との比較になっております。

1. 営業外収益（為替差益）の内容

当社は、2022年12月期第3四半期累計期間（2022年1月1日～2022年9月30日）の連結決算において、為替差益401百万円を計上していましたが、外国為替相場が変動した結果、2022年12月期の連結財務諸表において、為替差益266百万円を計上致しました。

2. 営業外費用（貸倒引当金繰入額）の内容

当社の完全子会社である INFORICH ASIA HOLDINGS LIMITED に対し資金の貸付を行っている金額について貸倒引当金を計上しておりますが、同子会社の財務状況に鑑み216百万円を追加で貸倒引当金繰入額として営業外費用に計上しております。

この結果、2022年12月期の個別財務諸表において、関係会社貸付金にかかる貸倒引当金の額は1,534百万円となりました。

なお、当社の個別決算で計上される貸倒引当金繰入額については、連結決算において相殺消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

3. 特別利益（固定資産補償益）の内容

当社が外部工場へ生産委託を行っているモバイルバッテリーのうち、過去に一定の製造ロットにて製造されたモバイルバッテリーに不具合が発生したことから、2022年第4四半期会計期間に委託先の外部工場より新品モバイルバッテリーの無償供給を受けております。

これに伴い、2022年12月期の連結財務諸表及び個別財務諸表において、固定資産補償益64百万円を特別利益に計上致しました。

4. 特別損失（使用権資産減損損失）の内容

当社の孫会社である INFORICH ASIA HONG KONG LIMITED の ChargeSPOT 事業において、2022年第4四半期会計期間に回収可能性を勘案した結果、使用権資産について減損損失を計上しております。これに伴い、当社2022年12月期の連結財務諸表において、減損損失106百万円を特別損失に計上致しました。

5. 2022年12月期通期個別業績と前期実績値との差異（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績（A）	993	△1,609	△2,183	△2,445	△1,585.48
今期実績（B）	3,393	△1,473	△1,738	△1,706	△951.87
増減額（B-A）	2,400	135	444	739	663.61
増減率（%）	241.7	—	—	—	—

（差異の理由）

売上高、営業利益、経常利益につきましては、新型コロナウイルスの影響の低下や積極的な投資を進めたことによるバッテリースタンドの設置台数の増加に伴い、レンタル回数が伸長した結果、前期実績を大幅に上回る結果となりました。

当期純利益につきましては、「1. 特別利益（固定資産補償益）の内容」に記載のとおり、特別利益を計上したこと及び2022年12月期における減損損失が前期比で大幅に減少したことにより、前期実績を大幅に上回る結果となりました。

以 上